

話合いは上手くいって
いるようで
あまり上手くいってない……

なぜ話合いが難しいか？

- 話す人が決まっている
(一部の人しか発言しない・できない)
- 何のための話合いかわからない
- 議論が深まらない
- 話がかみ合わない
- 個人的な感情で物事を決める人がいる
- 結論があいまい
(ヒトによって結論がいろいろ)

より有効な話し合いの作法



それが

ワークシヨップ

ワークショップで
何が解決するか
実験してみよう

話合いが難しい理由の1つ

(これを解決してみましょう)

■話す人が決まっている

(一部の人しか発言しない・できない)

自治会長さんに

「話す人が決まっていて、一部の人しか話してませんね」

と指摘すると…

「そんなことはありませんよっ！」
と返ってきます

(怒られちゃいました (笑))

自治会長さんが言うには…

だって、意見を聞いても
みんなが意見を言わないから…

あら？ほんとですか？

本当に皆さん
聞いても意見を
言わないのでしょうか？

ワークシヨップを使った
実験をして
確かめてみましょう

ワークショップの
1つの手法である
旗揚げアンケートを
使います

今から皆さんに
質問をします

質問「」

皆さんに旗が
配られています

この旗が画期的！

理屈は後回しにして
まずやってみましょう

ルールがあるので
よく聞いて下さい



どうでしたか？

意見がある方は
手をあげて発言下さい

と

旗を上げて

明らかに意見の出方が
違うような気が
しませんか？

普通の話合いに比べて この方法が有効な理由

- ① **選択肢**が示されているので**答えやすい**
- ② **ゲーム的**で、意見表明の抵抗が少ない
- ③ 他の人の意見を見ずに上げるので、**誰かの意見に流されることがない**
- ④ その他の**選択肢**で自由な意見を拾える
- ⑤ **少数意見も黙殺しない**やり方ができる

工夫次第で会議も活発に
できるかも知れない！

と、思えませんか？

このように

「参加者全員がフラットな関係で、
作業（ワーク）を通じて、
主体的かつ創造的に意見を出し合って
いくような話し合いの方法」が

ワークショップと呼ばれる
話し合いの手法

ワークショッップ

だんだん分かって
来ましたね…

ワークショップとは

- グループで行われます
- 参加・体験型・作業（ワーク）が基本です
- 課題解決や合意形成などを行う「場」です

- ワークショップは場にすぎません
- 集まった人たちによって結論も変わる
（参加者の存在に結論が左右される）
- 先に結論が決まっていない話合いの場
（意見の違いを認識・共有し、納得するプロセス）

「**場**」であるって
ちょっと難しいですね

「**場**」の話は
ファシリテーション（次回）
のところで
もう一度出てきます
（そこでもう一度整理しましょう）

今日は皆さんに
さらにワークショップを
体験していただく予定ですが

その前に

ワークショップの手法を
少しだけご紹介して
おきますね

まずは、ここまで
ずっと書いてもらっていた
模造紙

これがレコーディングとか
ファシリテーション・グラフィック
というワークショップの技法

あ、技法の名前は
別に覚えなくても
いいですよ…

普通の話合いに比べて この方法が有効な理由

- ① 議論の経過が、皆の前で記録に残る
→ その場で議事録チェックが可能
- ② ケータイで写真を取ればメモがいらない
→ 議論の間、集中して議論ができる
- ③ 参加していない人や、遅刻した人も分かる
→ 議事録を渡されても、なかなか読めないし
- ④ 目の前で頭の整理ができる
→ 議論の流れがよく分かるし、脱線しない
- ⑤ 話合いの振り返りが簡単
→ 最後に復習すると、内容がより頭に残る

会議の工夫
いろいろありそうですね

ファシリテーション・グラフィックの 事例をお見せします

自己紹介で、東日本大震災の
被災地・気仙沼に通っている話を
しましたが…

仮設入居期間のこと 2年? 3年?

小泉地区の事例 大学の先生

行政の復興方向が決まらないうい。 地区の名前など

3年で生活再建は無理だろう。
かさ上げや高地住宅地整備時間など。

移転先を自分たちで先回りして
決めてしまった。→市も追認
三陸道もよけてほしい要望

↓
考えられないうい...? 今できることも
あります

長びいてしまうと 人が減っちゃう ←若い人は仕事場がなくなった。

行き先もないのに仮設を追い
出されることばない 不安

※国は5年ぐらいいは見ている
→言いにくい 役所

雇用の場は重要!!

工場地帯が先? 住宅が先?

気仙沼は港以外 漁業グラント
すにもない 気仙沼
交通の便がよくないと 選ばれる?
産業もダウンしてしまう。
ちゃんと対応してくれない
大事なところをばやかあ。
たらいまわしにされてしまう。

現在 復興計画が発表された(市)
↓ どう対応したらいいかわからない。
具体的なことがはきりしてない。

今後 これから具体的事業計画が出る
→ 1月とか2月(もしかすると3月)
これで、もっと具体的な案がみえる

※土地の値段や交換方法はもっと先かも。
これを待っていると、どんどん遅くなる。

木目談会 2011.10.26 水戸
コメン
仮設

被災者目線
じゃない
借金では
金かきれないうい
借金して
言わづらう

※地域の皆さんの意見さまとめる必要ある。
そのためにも皆さんの避難先を知り必要。

市町村の自治会と、対応の仕方まちがう。
個人の意見や、若者の意見もと入れる

市の計画を先回りして考えておけば。
準備のできる地区は行政対応早い。

行政も話し合いの相手を求めている。
⑤ 法律で解決できるなら法律を
変える手もあります。

→ お金もかりられないうい...
自分の土地なのに自分の土地じゃない

皆で共同で住む場合 再建支援法
⇒ 生活再建支援金はどうなる

買いあげてくれるのん?

→ 何も決まらないういので重たけないうい。

住むなというなら買ってほしい。

→ どの値段で買ってもらえるか?

11月にはおたけはきりあるんだ!!

代替地があるのかも分からないうい

そこには建てられないうい?

→ じゃあどうあればいい?

不安

※代替地もないのに土地がばあれることばない。

戻ったあと、どんな暮らしをしたいか
子供たちにどんな町をまかせるか。

個人情報?

とりあえず郵送



コーディネーターの役割

皆さんの話を聞く

- 被災した状況や、仮設住宅でのご苦勞をうかがう
- 将来への不安や、行政への不満などをうかがう
- 目の前で文字にして、お互いの悩みを共有する

→ 第3者的な立場かつ、中立な立場で、
皆さんのお話をうかがう

じっくり話を聞く人がいるだけで
安心してもらえる

ある仮設住宅でいただいた言葉

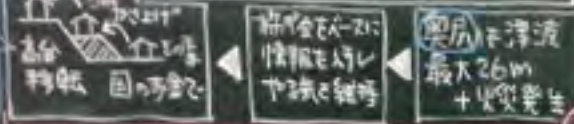
ここには、とてもたくさん
の人がきてくれたけれど

こんなにちゃんと私たちの
話を聞いてくれた人たちは
初めてです

五寒三温

鹿井地域振興協議会 2012.02.27

神戸平4, タンノさん & 奥さん, 辻(新研)
野崎, 浅見, 小本, 小井, 栗川
三輪, 岸本, 高石



気仙沼市 議会中 → 議会ありどうぞ
町協をつくと補助が出る? (新しい公営?)
振興協をそのまままち協に。という手も

船の問題: モニタリングして残す(市長)
(保存は決めて決定)
年明け以降, 行政から大きな出席要請?

3/11 みのんた氏が来る
家内尼崎で
2mから上げ
ましている

野崎 昨日(26日)の会合 議員さん説明
→ 具体的なことが何もないまま
被災者だけでなく地域全体を考えた
協議会が終了後は重なること

→ 鹿井は具体的にどうしたいのか?
事業のわかる 中心街以外には行政で
まちづくり

→ 区画整理が始まる。
→ 住民さんの体制が何年下れる。
3つのゾーンがどうあるべきか? (ど話し?)

地区振興(オルタナティブ)では
難しいかもしれない。
10年~15年

区画整理区域内で連絡協議会と!!
区画整理の費用をどうするか?

かたしずの底地等, 島本的な計画みえ
協議会を作れば行政は無視
土地の代表者あること (2団体 NG)
できるだけ多くの人が設立ある。
「オレはきいてない」人を生んじやない。
市長を替えてまち協ルールづくり中

区画整理 区域決定 → 都市計画
区域決定はまち協の決めること
3つの区域全体で話し合う母体

→ すでに決まってること? 未定
今は「案」の段階です
その土地を買ってもらえるか? など。

緩衝ゾーンはみかん畑と農地は関係ない?
地域全体の緩衝ゾーン, 専門知識も要
→ 議論的には大きなゾーン変更は難

減歩の話し → 神戸は最大9%
→ 公共用地が多くて単純に減歩増え
減歩多いなら反対。イヤ!! など

正確な情報, 正しい理解が必要
高台移転をしたい人いる。鹿井でどうなる
→ 区画整理をすすめていい人がたくさんいる。
かたしずのある所は集団移転使えませんか
高台移転のあり方など 制度を工夫して欲しい。
事業計画が出揃っていない。お見込み
盛土部分で家を建てるのはリスク大??
地震はまたおきるかも... 心配

→ 時間のかかる区画整理はまちの致命傷かもよ。
多勢の集会だけで済ませたい。小規模なものを
大規模な集会では話せない個別の事情もある

2月 27日 月曜日 日直
お正月の準備の方で大事

さて、また脱線しましたね…

まあ、でも…

レコーディングの技術が
役に立つ場面は多いです

模造紙レコーディングの技術は (ファシリテーション・グラフィック)

第5講でみっちりやります

さて...

ワークショップの手法は
他にもたくさん
ありますが

その紹介は後回しにして…

実践編に突入します！

題して...

よい会議・わるい会議
について考えよう
ワークショップ！

ポストイットを配ります

配っている間に
少し説明をします

これは

皆さんにワークショップを
体験していただくプログラム

と、同時に
私の今後の授業の
内容に関するリサーチを
兼ねていきます（笑）

1テーブルが1チームと
なって作業します

別に

勝負でもなんでもないけどね

まずは、ひとりひとりが
書くところから始めます

おっとその前に

チームなので
仲良くなりましょう

テーブル越しで結構です
皆さんチーム内全員と
握手して下さい

握手ができれば
ワーク開始です

このポストイットを使った
システムがすごいのよ

水色のポストイット

→よい会議・話合い

ピンクのポストイット

→わるい会議・話合い

最低でも1人が
それぞれ1つずつ
できれば3つ

がんばって書いてみて
下さい

ポストイット利用 鉄の掟

- ① 1つのポストイットには1つの意見を
(あとで意見を分類するときに困ります)
- ② 配られた太めのペンで書く
(鉛筆はあとで見にくい・写真撮れない)
- ③ 裏表を間違えない
(貼れないとダメです)
- ④ 上下を間違えない
(逆さまだとめくれちゃう)

水色のポストイット

→よい会議・話合い

ピンクのポストイット

→わるい会議・話合い

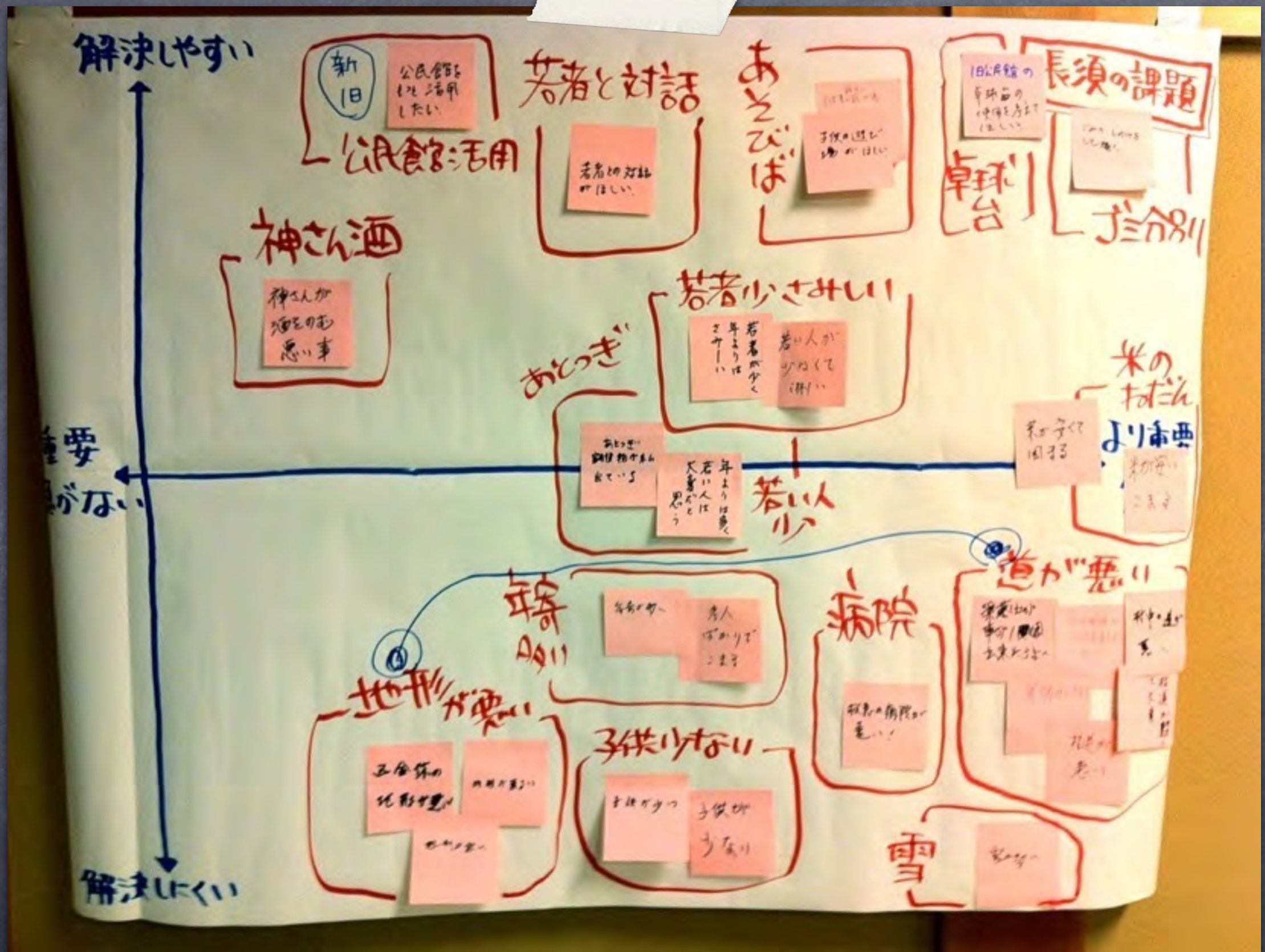
結論

私たちの考える
よい会議とは
こんな会議です♪

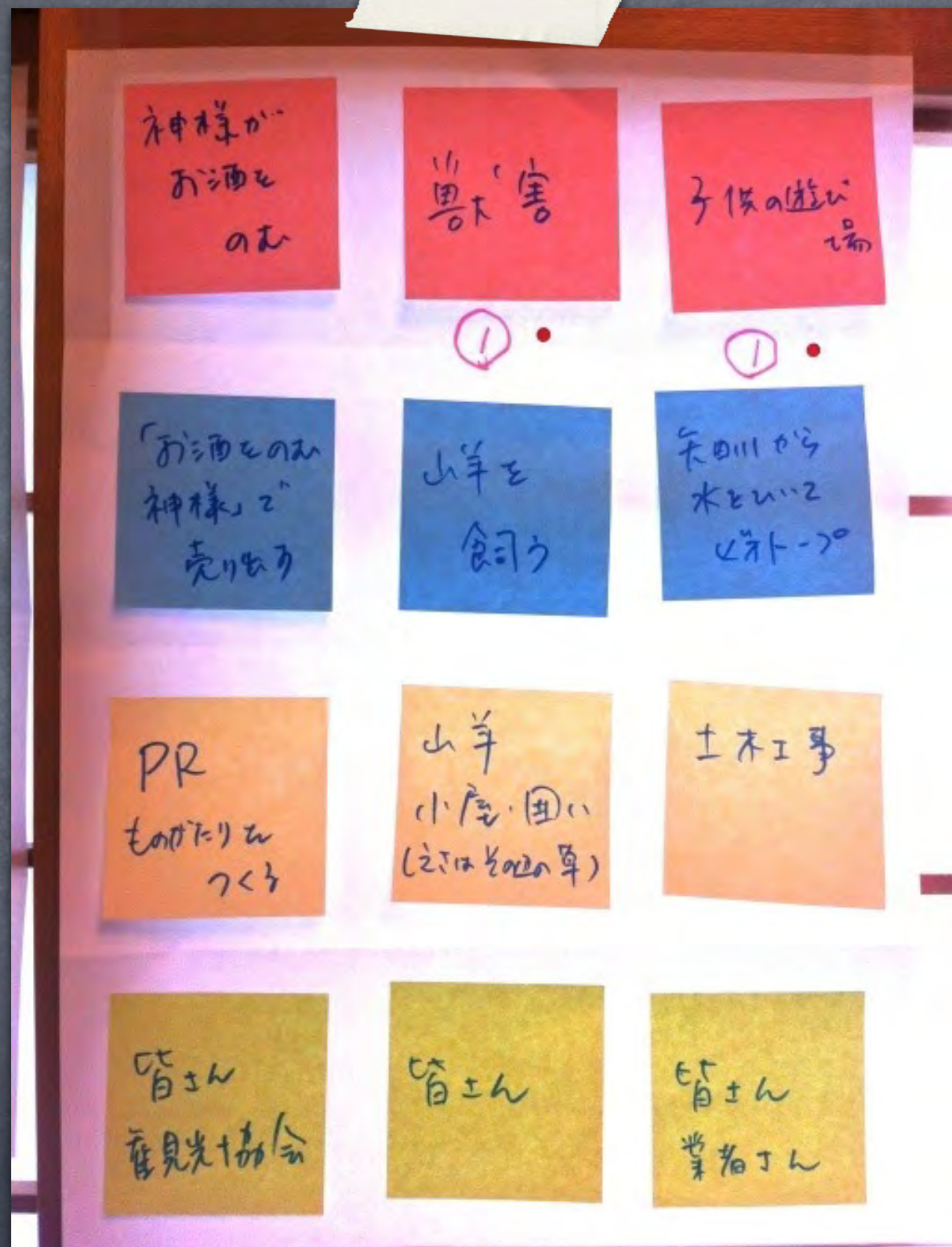
ポストイットを使った 意見抽出が有効な理由

- ① 1人が3つの意見を出せば
瞬時に $3 \times$ 人数分の意見が集められる
- ② 全く意見を言わずに帰る人が発生しない
(必ず何か意見を表明することができる)
- ③ 色分けで意見の種類が分けられる
よい〇〇・わるい〇〇を一度に集められる
- ④ 1枚に1つの意見を書くことで
あとで分類整理・傾向の分析が可能
- ⑤ 紙の上に記録が残るので議事録がいらない

他にもいくつかの
ワークショップ手法を
紹介しておきます



課題のグラフ化



課題解決シートの作成



シール投票

話合いの手法

手法はたくさんありますが、ここでは
私がよく使っている主な方法を紹介します

①旗上げアンケート

旗

②レコーディング
(ファシリテーション・グラフィック)

模造紙

③意見の抽出 & グループینگ

④課題のグラフ化

テーブル
ワーク

⑤課題解決シートの作成

⑥シール投票

シール

⑦マイクロワークショップ

話合いの手法

手法はたくさんありますが、ここでは
私がよく使っている主な方法を紹介します

①旗上げアンケート

旗

②レコーディング
(ファシリテーション・グラフィック)

模造紙

③意見の抽出 & グループینگ

④課題のグラフ化

テーブル
ワーク

⑤課題解決シートの作成

⑥シール投票

シール

⑦マイクロワークショップ

マイクロワークショップ

議論の最中で、煮詰まった時
3人のグループを作って
5分だけ3人で話してもらおう

マイクロワークショッップ

5分たったら、何を話して
いたのか、全てのグループに
発表してもらおう

マイクロワークショップ

意外とこれが
ブレークスルーを
引き起こすことがあります

マイクロワークシヨップ
ちょっと面白いでしょ

なかなか良い意見が出ない時
煮詰まった時などに
やってみるといいかもです♪
(道具がいらないのがヨイ)

地域づくりのワークショップ

さまざまな立場、意見の人が参加し、
何らかの共同作業を通じて、
まちづくりの課題や方向性について、
公平かつ創造的な議論を
おこなう「場」

ワークショップって
なかなか説明が
難しいです...

今日は

会議や話し合いがやり方次第で活性化する可能性がある

ということを体験して
いただきました

そして
そのための手法として
「ワークシヨップ」
という概念があり
ワークシヨップ手法にも
いろいろあることを
知っていただきました

さらに
ワークショップの体験まで
していただきましたね

さて

ここでワークショップについて
おさらいしますね

ワークショップの特徴

- 始めから決まった答えなどない
- お客さんでいることはできない
- 頭が動き、心も身体も動く
- 交流と笑いがある

ワークショップは楽しく話合いをするための手法ということもできる

今日はワークショップの定義が
いろいろ出てきて
混乱しましたよね…

実は、私たちにも
説明が難しいのです

6回の講座を通じて
ワークショップとは何か
をつかんでいただけたらと
思っています

6回が終わるときに
皆さん自身の
「ワークショップ」観
のようなものが
できるといいなと思います

あと5回
頑張らしましょうね

私も、皆さんの
お役に立てるように
頑張ります

このワークショップですが
これを運営するには
ある程度の技術が必要です

次回はこの技術
「ファシリテーション」
について学び
実習をしていきます

次回のテーマは
ファシリテーションと
コミュニケーション

コミュニケーションが上手って
一体どういうこと？

という話から始めます

今日はこれにておしまい

今日聞いたことが
そのまま皆さんのいつもの
フィールドに帰って
すぐに役立つとは思
えないですね…

言ってることは分かるけど
私はどうしたらいいのよ…
的な…

今日は導入ですからね…
次回から徐々に
皆さんのご要望にも
少しずつ応えて行きたい
と思っています

そんなことも含めて...

帰りに
アンケートを書いて
帰って下さい

アンケートの内容は
次回皆さんに
(無記名で)
公開する可能性が
あります

今日はお疲れさまでした

ありがとうございました
お気をつけてお帰り下さい

また来月お会いしましょう♪